

私の麻酔初体験

ルーシー

昨年思いかけて、親不知を大学病院で抜歯する事になり、私の麻酔初体験になりました。かかりつけ歯科医にこの親不知は神経の近くにある全身麻酔して抜歯手術にするねと、言われまして、怖いけどいつかは抜歯しないといけないうのでと予約ととり手術の運びとなりました。手術前日、部屋に通されて一番初めに来られたのが麻酔科医さんでした。入院も初めてであべて初だらけの私、

「体調や体質に合わせたいので怖くはないです。安心して下さい」とよるで私の勝手な予想と大違いの展開でした。説明書に沿ってわかりやすく私に丁寧の一つおつ説明で不安や怖れさを取り除く様に進めて下さいました。この「最初からもちろん術中も手術後も担当でついているので大丈夫ですよ」と笑顔でカウンセラーさんが終わりました。私はこんなに身近で寄り添ってもらうなんて随分気持ち良かったので、手術にむかえまじに

初めての説明でいなり不安が減り、薬剤師の方
や看護婦さん、歯科医の説明が心のハードル
が軽く楽にのぞめました。

正直麻酔注射をさされる位しかわからなかつた
ので幅広い範囲で考慮されているに手は杖、
くりしましに、私にとり麻酔は緊張を少なく
して安心剤とほりました。それは説明や私の
体を細かく聞いて下さり救われる人となりまし
に、手術当日も昨日話してしたので手術室で
見に顔の安心感、手術の最初に麻酔ですが

気がついていたら歯科医の先生の「無事終わしま
しよ」の声で朝目がさめに感じでした。

縁のゆい、に時は勝手に「麻酔って怖い」と
か「麻酔って体に悪そう」とマイナスイメージ
ジ、に私、手術を行う時、患者や手術する
側には必要で大切なステップ、そして縁の下
の役割だと体験でわかり、あの時の麻酔医さ
んに「ありがとう」と伝えたい気持ち一杯で
あ、体の痛み軽減だけでなく患者の心の不安
も和らげてください。役割でした。

手術前から術後まで細かく観察して調整して
下さる幅広い（手だから相手の手をよく理解
しての）プランになると思いました。
思いがけぬ私の全身麻酔が親不知で1にが
とんな病気で入り口が大切だと気づかされ
ました。
病院の中での役割や連絡がスムーズに行き
渡っているのが、バツドの上でよくわかりま
した。今日も又、色々な手術で麻酔が静かに
活躍していると思います。

おなかのスポーツの真中にあたる手は少ない
かもしれないけれど不可欠な大切な役割なの
で頑張っているにすぎなく、遠くからエールを
送りにいであれ。色々な人に安心安全を沢山届
け続けて下さる事を心から望んでいます。
このエッペイ男果を目にして是非伝えたいか
らに、おれの言える場所に伝えました。